

施策番号 1-2-2	施策名 児童福祉の充実	基本目標	誰もが健やかに生き生きと暮らせるまちづくり			
		政策名	子育てしやすいまちづくり			
	主管課	子育て支援課	課長名	佐々木快治	内線	580
	施策関係課					

1. 施策の方針と成果指標

施策の方針		対象	意図					結果	
児童の健やかな心身の成長を促すとともに、幼保相互の子ども情報の連携、保護者への教育情報の円滑な提供を促進します。		児童 保護者	・児童の健やかな心身の成長 ・幼保相互の連携が進み、保護者への教育情報の提供がスムーズになされる					保護者が安心して子どもを預けることができる	
成果指標	説明	単位	23年度(策定時)	27年度	28年度	29年度	30年度(目標)		
① 保育所の保育サービスに満足している保護者の割合	保護者アンケート	%	認可 94.0 農村 85.0	認可 90.2 農村 93.4	認可85.8 農村91.5	90.0	90.0		
② 保育所待機児童数	実績数	人/年	0人/年	0人/年	0人/年	0人/年	0人/年		
③ 子どもセンターに満足している利用者の割合	利用者アンケート	%		84.5	86.7	90.0	90.0		
成果指標設定の考え方	①、③の成果指標は90.0%を目指す。②は待機児童ゼロを継続する。								

2. 施策の事業費

	27年度決算	28年度決算
施策事業費(千円)	1,133,845	647,695
人工数(業務量)	4.3323	4.3777

3. 施策の達成状況

(1) 施策の達成度とその考察			
①平成28年度の成果評価(前年度比較)	<input type="checkbox"/> 成果は向上した <input checked="" type="checkbox"/> 成果は変わらなかった <input type="checkbox"/> 成果は低下した	想定される理由	①については、数値が下がったものの微減であり、特段の理由はないと思われる。②は町独自の待機児童対策を継続実施したことにより目標達成。③は芽室小学校区の子どもセンターが開設したことにより、前年数値を上回ったものと考えられる。
②平成30年度の目標値達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標は達成できる <input type="checkbox"/> 現状の取り組みの延長で目標達成は難しいが、現行事業の見直しや新規事業の企画実施で目標達成は可能 <input type="checkbox"/> 事業の見直しや新規事業の企画実施をしても目標達成は難しい	根拠(理由)	①は、農村地域保育所のサービス拡充や多子世帯等の保育料軽減策等により、満足度は更に向上されると考える。 ②は、小規模保育事業所との連携や認定子ども園の展開により、目標数値の継続は可能と考える。 ③は、統括支援員を中心としたきめ細かい支援の継続や運営委員会によるセンター事業の充実検討により、目標達成は可能と考える。
(2) 施策の成果評価に対する平成28年度事務事業の総括			
①施策の成果向上に対して貢献度が高かった事務事業	認可保育所運営事業 農村地域保育所運営事業 子どもセンター運営事業	②施策の成果向上に対して貢献度が低かった事務事業	
③事務事業全体の振り返り(総括)	幼稚園、保育所、子育て支援団体との細やかな意見交換を恒常的に実施したことにより、情報と人的ネットワークの構築が図られ、個別事務事業の充実につながった。また、平成28年度は、子どもセンターの開所時間や上美生保育所の保育時間の拡大を図るとともに、農村地域保育所の早朝・延長保育対象者を全児童に拡大したことにより、一定程度の満足度を得ることができたと考える。		

(3)「施策の方針」実現に対する進捗結果

進捗結果	A	B	C	D	E
			○		

※該当に○印

- A: 実現した
- B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した
- C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した
- D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない
- E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した

4. 施策を取り巻く状況変化・住民意見等

施策を取り巻く状況と今後の予測	<p><施策を取り巻く状況> 平成26年度に策定した「芽室町子ども・子育て支援事業計画」を、策定時からの状況変化(保育所への入所申込増等)に対応するため、認定こども園や小規模保育事業の移行計画を加えたものに改定した。</p> <p><今後の予測> 今後も保育ニーズや特別保育(病児保育、休日保育等)の要望が更に高まることが予想される。</p>
この施策に対して住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?	<p>①病児保育の実施</p> <p>②休日保育の実施</p> <p>③保育所等における遠距離送迎対策の実施</p>

5. 施策の課題認識(現状の課題、新たに取り組むべき課題)

<p>課題① 病児保育を求める声への対応 病後児保育は実施しているが、病気や怪我の急性期における病児保育を求める声に対応するため、今後は町内事業者との意見交換や実施自治体の状況確認を行い、現時点における実現可能な病児保育のあり方を整理する。</p> <p>課題② 休日保育を求める声への対応 今年度、農村地域保育所において休日保育を先行実施(5月)したところであるが、9月に実施する状況と合わせて検証し、今後の芽室町全体の休日保育について、更に検討を進めていく。</p> <p>課題③ 保育所等の遠距離送迎対策 平成30年度実施に向けて、平成29年度中に制度設計(要綱の作成等)を行う。</p>

6. 総合計画推進委員会(庁内評価)

評価	幼稚園や保育所、関係団体等と細やかな連携をとっており、前進していると評価する。	A	B	C	D	E
		進捗結果			○	
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ●今後も情報や人的ネットワークを活用し推進してもらいたい。 ●芽室町独自の待機児童対策を継続実施してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した 				

7. 総合計画審議会(外部評価)

評価	庁内評価と同じく前進していると評価する。	A	B	C	D	E
		進捗結果			○	
今後の取組に対する意見	<ul style="list-style-type: none"> ●病児保育も大切だが、休みがとりやすい環境づくりなど、事業所への理解を求める働きかけなども必要ではないか。 ●指標について、数値が下がっているものを微減としているが、児童福祉であり子どもの問題なので、原因はないのかしっかり検討してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> A: 実現した B: (後期実施計画策定時と比較して)大きく前進した C: (後期実施計画策定時と比較して)前進した D: (後期実施計画策定時と比較して)変わらない E: (後期実施計画策定時と比較して)後退した 				